

ニュース時事能力検定(ニュース検定) [2級]

まちを取り巻く出来事に敏感になる

資格種別	民間資格
認定団体	特定非営利活動法人日本ニュース時事能力検定協会など
受検資格	特になし
合格率	48%程度



こんな人におすすめ

企画担当



資格の概要とメリット

ニュース時事能力検定(ニュース検定)とは、今の時代を生きるために欠かせない、ニュースを読み解き、活用する力(時事力)を養い、認定する検定です。時事力とは現代社会の出来事を公正に理解し、その課題をみんなで解決していく礎となる総合的な力です。大きく変動し、先行き不透明な時代に、時勢を読むために不可欠な力です。

公務員も、課題を見つけたり、政策を策定したりするうえでは、世の中の動きをきちんと押さえておく必要があります。そのためにはニュースに敏感でなければなりません。住民や上司に説明する際にも、ニュースに対する感度を高めておく

ことで、説明に説得力が増し、信頼度も向上するでしょう。



取得した人の声

取材協力：小松俊也さん

取得当時：20代／都道府県職員（主任）／勤続7年

その日のニュースが 業務に関わってくることも多い

”

取得しようと考えたきっかけ

昇任試験で時事問題が出題されるため、対策を兼ねて受検したのがきっかけです。また、時事の知識は仕事で必要なので、一度総合的に学んでおきたいと考えていたことも取得を後押ししました。

ニュース検定を取得することで、普段接するニュースや新聞の理解が深まるので、入庁後の早い段階での取得をおすすめします。

取得にかかった時間や試験対策の工夫

公式テキストや公式問題集を使い、気になった箇所はネット記事などで調べながら2週間程度勉強し、2級を受検しました。専門的な資格というよりは、時事に関する一般的な知識などが問われるので、普段からどれぐらいニュースに触れているかで対策に必要な時間は変わります。普段からニュースを見る習慣があった私の場合は、30時間程度の勉強で済みました。

取得後の変化

総合的に時事問題を学べたことで、日頃見るニュースの理解度が変わりました。自治体の業務では、その日のニュースが業務に関わってくることが多いです。私の場合、海外の最新事情をまとめる際に活用できました。また、管理職の方を中心に、周りにはニュースに敏感な方が多かったので、職場で議論する際にもニュース検定で得た知識が役立ちました。



過去問にチャレンジ！

日本国内の環境問題への取り組みに関する次のA～Dについて、正誤の正しい組み合わせを①～④から一つ選びなさい。

- A：国内で排出されるプラスチックごみの大半は、埋め立て処分されている。
B：コンビニエンスストアなどで配布される全てのレジ袋が有料化されている。
C：二酸化炭素の排出量を削減するために、「地球温暖化対策税」の導入が検討されている。
D：政府は、2030年までに温室効果ガスの国内排出量を「実質ゼロ」とする目標を掲げている。

- ① A－正 B－正 C－正 D－正 ② A－誤 B－正 C－誤 D－正
③ A－正 B－誤 C－正 D－誤 ④ A－誤 B－誤 C－誤 D－誤

[正解：④]

(2021年度2級試験過去問題より)



資格の詳細

<https://www.newskentei.jp/>

